

子どもたちが写真文化に親しみ、写真を通して豊かな感性を育むことを願って始まったこの賞も、11回目を数えました。今回は過去最多となる計174点129名の応募がありました。市内小中学生の皆さんのお写真を紹介します。なお、保育園児の応募もあり受賞されました。

小学生の部



青空もみじ

竹下 瑞聖さん 鼎小学校6年生



ホクホク! やきいも

藤本 菅多さん 下久堅小学校3年生



飯田市
教育ビジョン

地育力による
未来をひらく
心豊かな人づくり

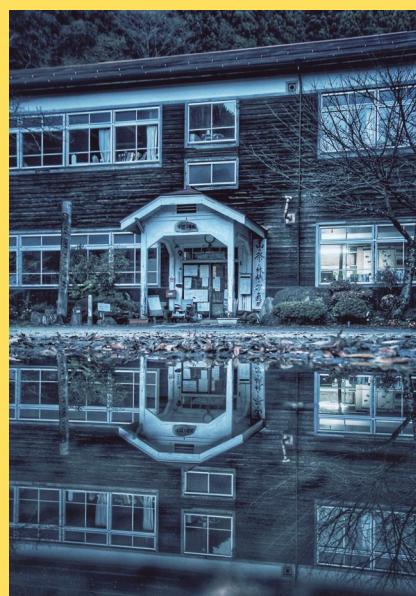
飯田市教育委員会
子どもを
はぐくむ情報誌



ステイホーム

大久保 汐雲さん 中村保育園年長

中学生の部



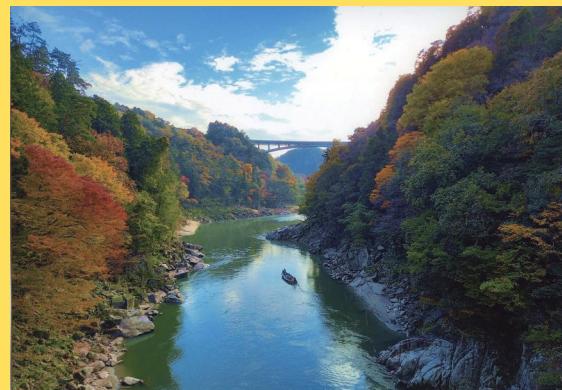
覗く幻想

林 勇輝さん 高陵中学校2年生



たかねの秋

田中 はなさん 遠山中学校2年生



自然が作り出したカラフルな世界

小野寺 僥さん 旭ヶ丘中学校1年生



食べられちゃう~

小宮 誠士さん 緑ヶ丘中学校1年生

飯田市の子どもたちの今 第2弾

～子どもたちの様子から～

飯田市の中学生 冬季ジブン・チャレンジ！

実際の生徒の声をお届けします

完全下校時刻が早まる冬季(概ね11月～1月)の放課後部活動を行わない時期を「冬季ジブン・チャレンジ」と位置づけ、一人一人がアクション・プランを考え、自分のやりたいこと、伸ばしたいことに挑戦しました。

01 アクション・プランを立てました【11月上旬】 (いつ・どこで・誰と・何を・どのくらいやるのかを具体的に)



自分の好きな
スポーツを
かんぱりたい

学校から帰宅したあと、家の前で、妹(または一人)とオーバーパスとアンダーパスを15分間ずつ・壁打ち・スペイクを20回連続で行う！

生徒の言葉をそのまま引用しています。

やっていることを
さらに向上させたい

毎日(特別な予定がない限り)、
自分の部屋でピアノかギターの
練習を30分以上はやる。

家族と一緒に過ごしたい

夕食の時、リビングで
家族に学校の様子について、時間がある限り話をする。



写真は、全市型競技別
スポーツスクールでの活動の様子

02 一人一人の 冬季ジブン・チャレンジ期間が 始まりました【11月～1月】



03

取り組めたことを振り返り、 新しい「自分」を見つけました【1月下旬】

振り返り

自主的に休日を中心にバレーボールの練習を行うことができた。対人では、相手の正面に打たないこととレシーブはすべて相手の方向に返すことを意識した。前よりもボールを正面で捉えられるようになった。

見つけた！新しい自分

私は普段、小さなことでも毎日続けるのが苦手なのだけれど、小さな目標を1つ立ててそのために取り組むのが好きだと改めて思い、だいたい毎日続けられることができた。これからも1つずつ小さな目標をたてて取り組みたいと思った。

振り返り

ピアノでは1日1時間未満程度の練習を毎日続けて、レベルアップした形で本番を成功させることができた。ギターでは新しい曲の習得まではできなかったけれど、弾ける曲の中で週1程度に練習ができる。

見つけた！新しい自分

今まででは目標を決めて、途中で諦めてしまったり、毎日の練習が続かなかったりして、最後までやり遂げられないことが多かったけれど、アクション・プランを立てたことで、毎日の練習がはかどって、新たな自分を見つけられた。

04 この期間に得た学び さらにやってみたいことを 考えました【2月】

家でもできるストレッチや筋トレを今までのメニューにプラスしていきたい。そして、コロナ禍で部活が全くできない状態でも体が鈍らないようにならないよう、体力は持続していく！

家族の時間を大切にすることをこれからも大事にできるといいから、短い時間でもいいから、目標に対して継続して取り組めるような自分になっていきたい。



1つの目標に向かって努力を続けることの楽しさや、その目標を達成できたときの達成感や嬉しさを改めて実感できた。これからは、自分の「苦手」を克服して、得意なことを更に伸ばしていくことを頑張っていきたい。

学校では発揮できないことを突き詰めてやる時間を見つけ、スタートしている姿が見られました。日頃の会話から、「努力する自分に気付いてやっているんだな」と分かり、新しいその子の世界観を発見したような気がします。



担任の先生の声

見守っていただいた方から

1つのスポーツにこだわらなくて、チャレンジしてみたい種目を自分で選んで参加できることは、主体性という面でも素晴らしい活動だと思う。指導者にとっても活躍できる場になっているのでありがとうございます。

スポーツスクールコーチの声



画面のカードには百人一首の句が書かれています。先生の上の句が読み上げられると、カードを見つけて取り札の棒に納めます。クラスメイトの反応も感じられて楽しそう！

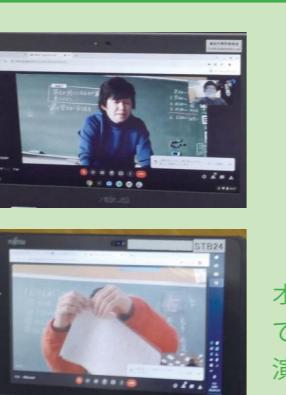


公民館（エッセンシャルワーカー家庭児童預かり場所） での子どもたちの様子

支援員さんと一緒に画面に映る映像をみてダンスを踊っています。他の子の踊っている様子も見られ、まるでクラスのみんなと踊っている雰囲気になりました。



国語の授業で冬を連想することから画面に書いています。誰が書いたか分かるよう色分けされています。友だちの考えも分かりワクワク！



休校中のオンライン授業 新型コロナウイルス感染症による 臨時休校でも授業が行われました

教室から 発信する「授業」



オンライン授業であっても、普段の教室での授業と同じように板書しながら授業を進めました。

画面越しですが、学級の子どもたちの様子を確認し、子どもたちとのつながりを大切にして授業を行いました。



笑顔で子どもとつながることを心かけました。子どもたちに発言を求める場面を作り、授業が一方通行にならないように配慮をしました。

子どもたちから 見た「授業」



オンライン授業であっても、普段の教室の授業と同じように「めあて」を明確にした授業が行われました。「画面越しでも黒板に書かれた大切なポイントが見える」「カメラに向かって話す先生の話に耳を傾けられる」「カメラの前で実際に演ずる先生の動きに注目できる」等、まるで自分だけに語りかけてくれているような授業でした。



「わが家の結いタイム」で豊かな新生活を始めませんか?

教育委員会では、家族とのふれあいのひとときを「わが家の結いタイム」と名付け推進しています。春は新しい生活の始まりです。ワクワク、ドキドキする一方で新たな環境でストレスをためてしまうこともあります。そんな時には家族のふれあいがストレスを和らげてくれます。心地よく生活できるように、春休みにそれぞれの家庭ができる「わが家の結いタイム」を考えてみませんか。

H
a
g
u
(ハグ)

2022.3
vol.16

16

飯田市教育委員会がお届けする子どもをはぐくむ情報誌

2022年3月10日発行 飯田市教育委員会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534 ☎0265-22-4511

「わが家の結いタイム」の身近な4つの取り組み

あいさつ



あいさつは人ととのより良い関係を作るための第一歩です。「おはよう」「いただきます」「ありがとうございます」「ごめんなさい」まずは家族の中で自分からあいさつする習慣をつけましょう。

会話



メールやスマホばかりではなく、お互いの顔を見ながら心と心、言葉と言葉で会話をしましょう。春休み中は、ゲームやスマートフォンなどの使い方を家族で見直し、規則正しい生活を心がけてみましょう。

お手伝い



食事の準備や片付け、掃除などのやり方を親から子に伝える時間は、そのまま家族のふれあいの時間になります。「お手伝いありがとう」の感謝の気持ちを伝えることも大切です。

読書



読書で「表現力」や「想像力」が育まれ、読み聞かせは子どもたちの「豊かな感情」を養います。家族で同じ本を読んだり、読んだ本を紹介し合ったり、料理の本などを読んで一緒に作ったりしてみましょう。

「わが家の結いタイム」の取り組み紹介

校外指導部委員会による交通安全当番の際、登校する児童らに積極的に挨拶をし、地域、保護者、学校のつながりを深められるように努めている。

保護者の取組

結いの日に併せて「ノーキャンペーン」を定めて各家庭で取り組みを行い、家族の会話やお手伝い、読書等の時間が増え、家族のつながりや心身の成長につながっている。

学校の取組



読書時間に併せて親子読書を実施し、家庭で読んだ本について、子どもの感想に親がコメントすることで、本を通じて対話ができた。

学校の取組

毎日図書館には行けなかつたけれど、家にある本を積極的に読んでいて、弟の読み聞かせも上手で、頼りになるなあと感じた。これからもいろいろな本に触れて読書を楽しんで欲しいと、子どもへ感想を伝えた。



保護者の取組

家族が心をかよわすひと時をもち、ネット環境や各種メディアから離れて、家族で過ごす時間を大切にする日として推進しています。家族でふれあいながら過ごすことの大切さを再認識してみましょう。

毎月第3日曜日は『結いの日』です

「報われない努力だったかもしれない」。北京五輪のフィギュアスケート男子シングルで史上初の4回転アクセルに挑んだものの、4位に終わった羽生結弦選手が試合直後に述べた言葉です。

不可能といわれた技を練習し続け、本番で結果が出なかった気持ちは、本人しか分からぬものだと思います。でもその10日後、エキシビションの演技を終えた羽生選手は、笑顔でこんなコメントを残しています。「人生って報われることが全てじゃないんだなど。ただ、報われなかつた今は、報われなかつた今で幸せ」と。

努力を積み重ねたからといって必ず報われるとは限りません。でも、努力することでしかえられない幸せがあります。努力したからこそ分かり合える仲間がいます。夢や目標に向かって続けてきた努力は、生きる力の土台となり、その人を大きく成長させるものだと感じます。

人生には理不尽な出来事や思い通りにいかないことが起こります。それでもなお、自分のやりたいことに向かってひたむきに努力を続けることの尊さを、みんなで育(Hagu)くんでいきませんか。

コラム



飯田市教育長
代田 昭久

